

活動事例報告

新たな地域コミュニティ推進大会

市長公室大宮市民局

地域づくり支援員：村上幹生

地域おこし協力隊：谷村衣理

大宮町について



大宮町の現状

大宮町の人口	2004 京丹後市誕生		2020		2045 R2国勢調査による予測	
	人口	高齢者率	人口	高齢者率	人口	高齢者率
全体	11,087	23.0%	9,575 -1,076	31.3%	6,704 -2,871	45.9%
大宮第一小学校区 (口大野、周枳、河辺、善王寺)	7,672		7,140 -101	28.2%	5,248 -1,892	42.7%
大宮南小学校区 (奥大野、上常吉、下常吉、三重、森本、谷内、 三坂、五十河、延利、久住、明田、新宮)	3,415		2,435 -975	40.3%	1,456 -979	57.6%

- ・ 主要産業（農業・織物業）の衰退、都市部への人口流出による人口減少・高齢化が進行



一つの自治区で出来ることには限界がある

大宮町区長協議会の取組み

持続可能な地域運営を行うことを目的とした 大宮町全域での広域連携組織（京丹後市大宮町地域会議）の設立に向け 平成30年から自治区の垣根を越えた取組みを開始

意見集約

区長へのアンケート、エリア別区長による意見交換会
大宮100人ミーティング、おおみやわいわいミーティング

地域防災

避難所運営研修及び訓練

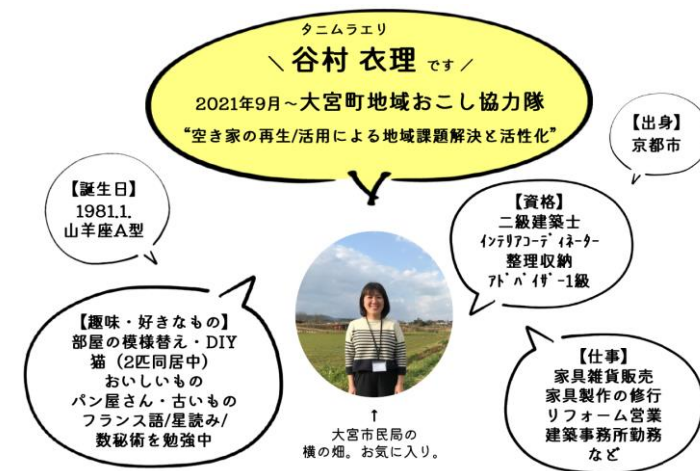
空き家活用・移住促進

地域おこし協力隊との連携

農地保全

町全体で農地を守ることを目的とした連携組織

「大宮町広域協定運営委員会」を5地区で設立⇒現在11地区が参加



おおみやわいわいミーティングについて



おおみやわいわいミーティングとは

○大宮町区長協議会が主催する事業

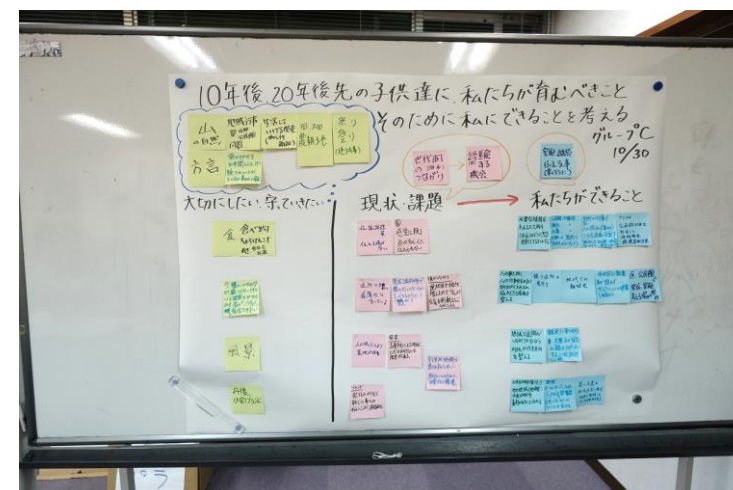
○目的は下記の通り

- 性別、年齢、肩書きなどの枠を超えた多様な住民の方々による話し合いで出た意見を、京丹後市大宮町地域会議の設立に向けた計画づくりに取り入れること。
- 参加者が地域づくりに関わるきっかけとすること。
- 参加者同士のつながりを作ること。



○龍谷大学政策学部と連携

教員による事前講義や講評、**話合いのスキルを学んでいる**学生による班ごとの話合いの司会進行や書記



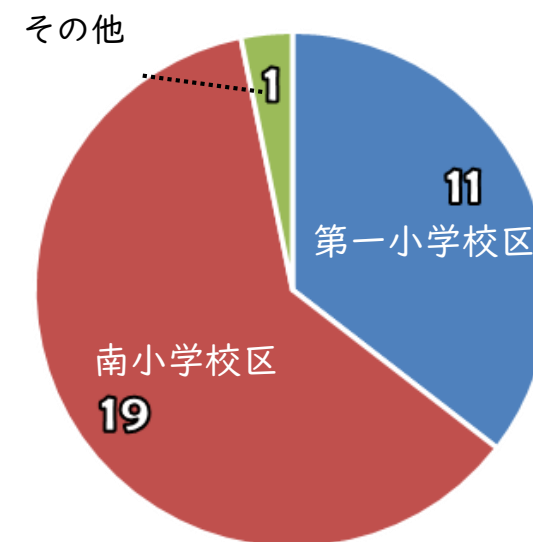
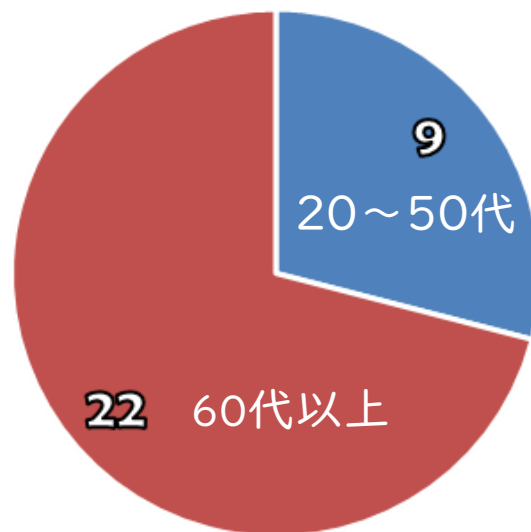
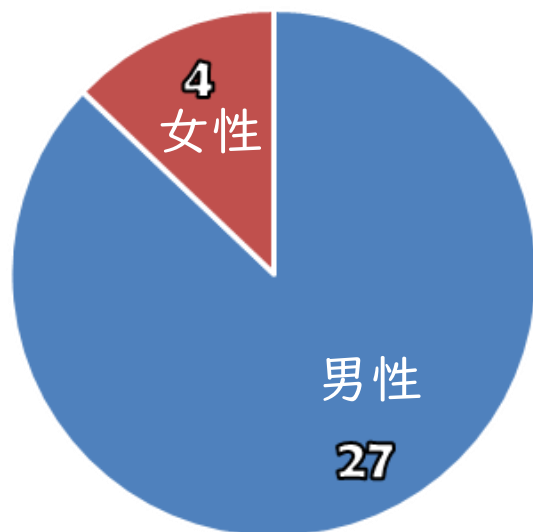
大宮100人ミーティング（おおみやわいわいミーティングの前身）

開催概要

日時：令和2年1月19日（日）10：00～16：00

場所：大宮庁舎4階第2、第3会議室

参加者：31名



話合いの内容

Work
1

子供たちに残したい大宮の良いところを話し合う

Work
2

子供達に私達が残すべき育むべきことを話し合う

自然：田園風景の維持、はっきりとした春夏秋冬

伝統：地域ごとに違う秋祭り、祭りを楽しむ心

コミュニティ：地域のつながり、住民の人柄の良さ

Work
3

そのために、自分にできることを考える

自然：農村景観や自然の保護の必要性の可視化、子どもと丹後の自然や食を楽しむ

伝統：各地区の伝承を伝えるためDVDやYouTube等の映像に残す、しめ縄体験

コミュニティ：どんな大宮にしたいのか若い人と話したい、村の組織を見直す

※話し合われた内容を抜粋

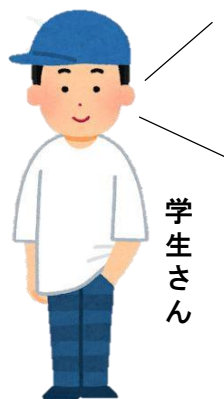
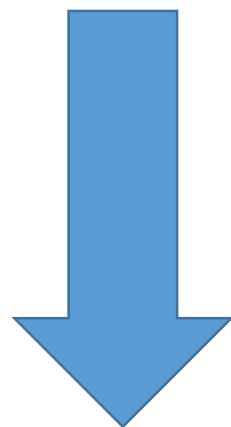
参加者の声 (抜粋)

- **ミーティング回数を増やすことが必要。**
- **もっと若い人も多く参加しているかと思いましたが、年齢層が高い人ばかりでした。**
- **同じ思いや考え方の人が多かった。もっと違う意見が聞けると良いと思う。**参加者の男女の割合、年代が違っていると、もっと違う意見があるかも。
- **時間が長すぎる。**
- **いろいろな人と話し合うことは大変有意義である**
- **人の数だけ考え方がありと改めてわかって楽しかった。今後もこういう会をやってほしい。**

2回目に向けて

計画
当初

参加者の多くが男性だったので女性に集まってもらう



「LGBTの人はどうするんですか？」

大宮町が好きなら誰でも参加できるように！

(ただ同じようにやったら同じような人しか来ない)

誰でも参加できるように工夫しよう！！

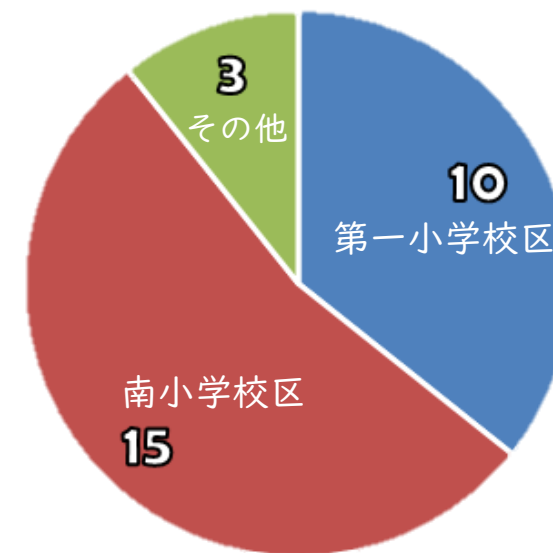
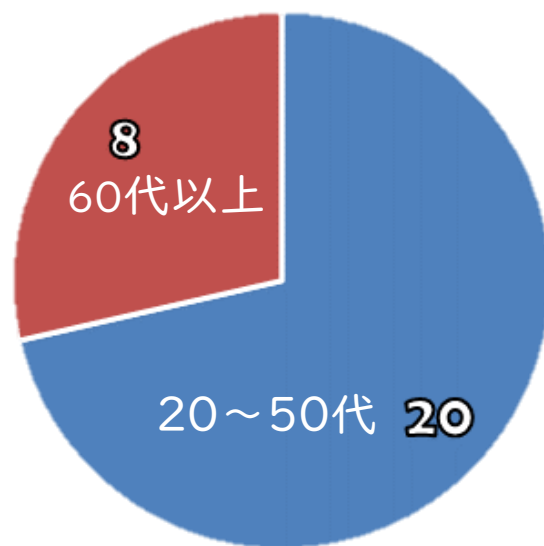
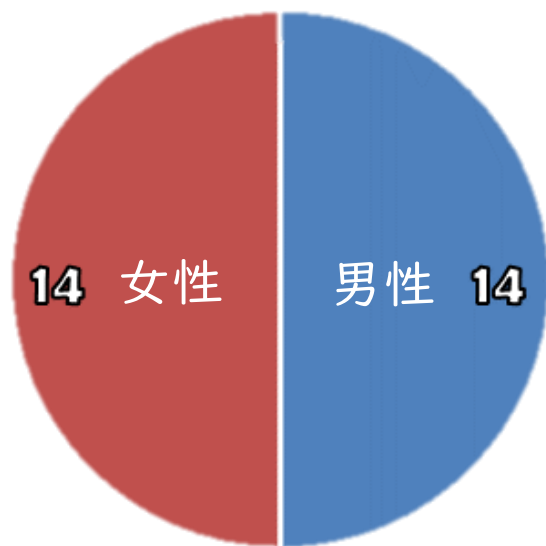
おおみやわいわいミーティング

開催概要

日時：令和4年10月30日（日）13：00～17：30

場所：大宮庁舎4階第2、第3会議室

参加者：28名



話合いの内容

Work
1

子供たちに残したい大宮の良いところを話し合う

Work
2

子供達に私達が残すべき育むべきことを話し合う

自然：竹野川、内山ブナ林、里山の風景、生物多様性

伝統：郷土料理、農作物、秋祭り

コミュニティ：地域組織の維持、子供の見守り

Work
3

そのために、自分にできることを考える

自然：有償ボランティアによる整備、公民館事業を利用した自然体験や環境整備事業を行う

伝統：外部からの支援、伝統にとらわれすぎない、祭り以外でも気軽に交流できる場を作る
状況にあった祭りの実施（コロナだからと言ってすぐに中止にしない）

郷土料理を教える、子供にできるだけ地元食材を使った料理を出す

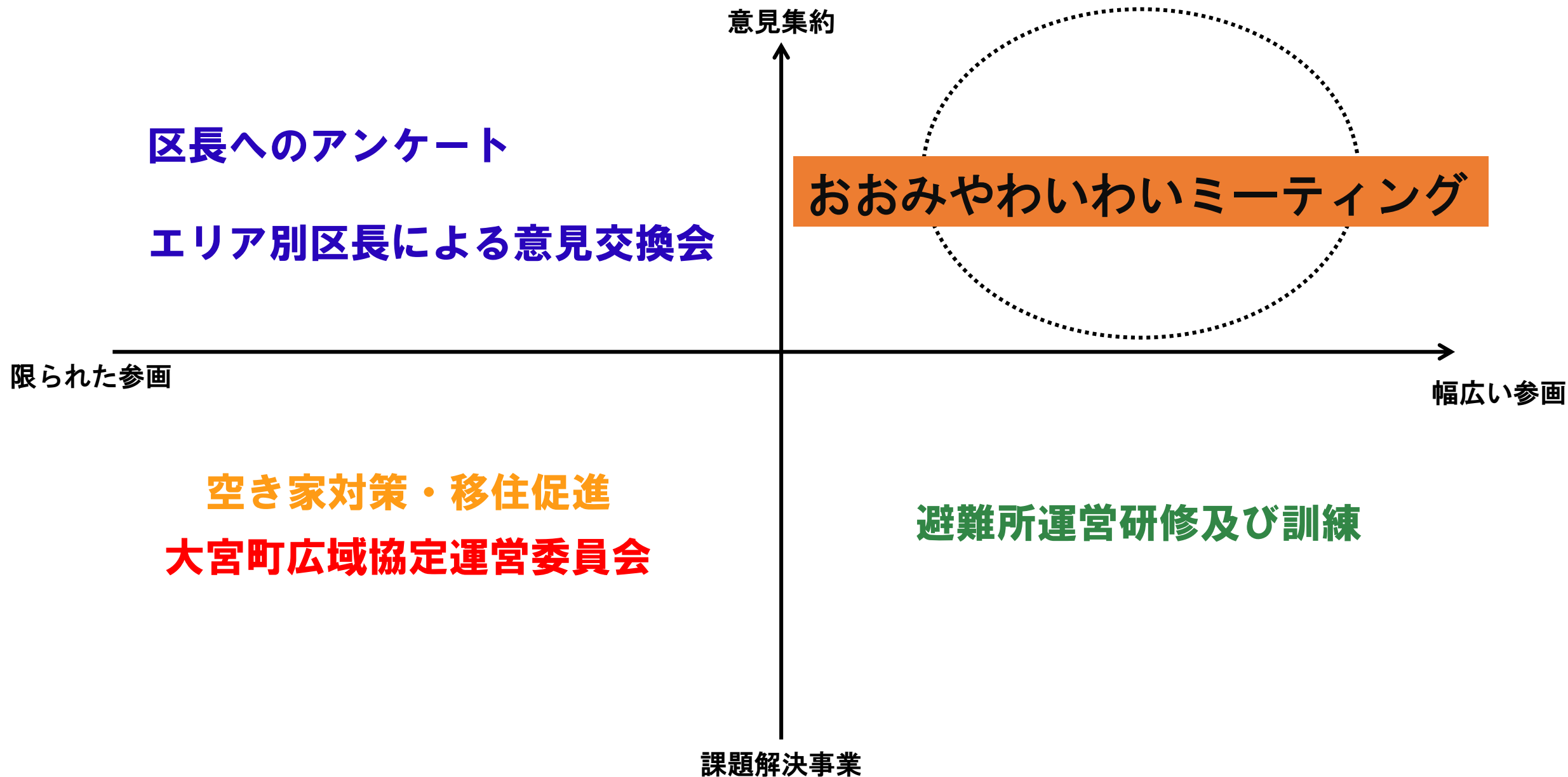
コミュニティ：どんな大宮にしたいのか若い人と話したい、移住者の受入れ(新しいアイデアの創出)
これからの地域を考える場を作る、子供の見守りのため大人から積極的に挨拶する

参加者の声（抜粋）

- いろいろな人と同じテーマで話をすることで**価値観の交流ができ楽しかった**です。
- **学生さんのファシリテートがとてもよかった**。こういう話合いの場をもっと作り上げていく必要があると感じました。
- **新たな出会いがあり嬉しかった**。志高く活動する若者がいる事が刺激的で自分も頑張ろうと思った。
- **他世代の考えや大切にしていること等聞けて良かった**です。
- **今回の話合いをどうつなげていくかが課題だ**と思います。
- **区単位やもう少し小さい範囲でやりたい人が話合いをやっていける機会があればいいな**と思った。

いろいろな人の参画を大切に理由

コメント②



いろいろな人に参加してもらったために工夫した点 コメント③

○気軽に参加しやすい雰囲気づくり

- ・ イベントの名前変更、チラシの工夫、人気店のお菓子を出す



10年後の大宮町について
みんなで話し合うワークショップ

おやつを食べながら
わいわい話しましょう

住んでいる人、
通っている人、
出身の人、
大宮が好きな人、
だれでも参加OK!

**おおみや
わいわい
ミーティング**

ご家族・友だち・趣味の仲間など
グループの参加、大歓迎!

私はおおみやの
ことが好き、
あなたは?

みんなで話し
楽しいね♪

Point1 大学生がサポート
当日は難谷大学が
話し合いをサポートします。
有知元生から連携して
開催しています。

Point2 お菓子をプレゼント
参加者の皆さんに
tabel tableのおやつセット
をプレゼントします。
(お持ち帰り可)

Point3 コロナウィルス対策
消毒薬・パーテーションなど
を活用して、感染対策を
しっかりします。
マスク着用をお願い致します。

日時 2022年2月6日(日) 13:00~17:30

会場 アグリセンター大宮
1階 会議室&和室

申込締切 1/26 (水)

参加費 無料

申し込みお問合せはこちら

電話: 0772-69-0712
FAX: 0772-64-5000
メール: omiya-shimin@city.kyotango.lg.jp

主催: 京丹後市大宮町区長協議会 協力: 難谷大学/京丹後市



- ・ 普段からのコミュニケーションを大切にし、声をかけやすい状況を作っておく